

瀬戸 瀬戸黒 織部 織部黒

唐津

奥高麗 高麗人來りて唐津にて焼し故高麗の方より奥と云ことなり、瀬戸唐津 唐津の

瀬戸に似たるをいふ

萩長門 高麗人來りて焼初ると云

松本地名 薬の質堅し 深川 薬の質和かなり松本深川とも萩焼なり、

伊賀 備前 薩摩

右三所とも遠州時代より茶盃を焼始るなり、

仁清 清水 古清水あり 樂焼 代々 手造類

〔君臺觀左右帳記〕土物類

曜變 建盞ノ内ノ無上也、天下ニオホカ

建盞 ヲテモノ次也、コレモ上々ハユテ

熊盞 土白シ、薬ノ内ニアリ、千匹ホシ有、鳥花

灰潜 見世間ニマレナル物ニテ候、

只天目 世間ニ多キ物ニテ重寶ニ候、

饒州磁 土ウツクアリテ、内外スキトナルチニヨウシマカニ花鳥

瑄瑤 土ムラサキ色也、薬モウスムラサキ色ニテ、ヒキタルチ云也、青キ

〔茶器名形篇〕上 利休好名物七種之一 長次郎作黑茶碗鋸大黒、大サ三寸七分、高サ二寸六分、本

形大坂鴻池善右衛門有之

其二 長次郎作黑茶碗、銘鉢開大サ三寸八分、高サ二寸六分、本形細川肥後守殿有之、三齋所持